

# ～学生企画活動支援事業報告～

## ■ 劇団キラキラ座 – 誕生15周年記念第40回公演 –

昨年平成21年は、劇団キラキラ座誕生15周年という、記念すべき年でした。公演回数も40回を記録し、この節目になにか大きなことをやりたいという想いが具現化したのが今回の「THEキラキラ8犬伏」です。

現役のみならずOBの方々にも声をかけ、過去39公演のエッセンスや、それぞれで培った技術を集約し本格的な完成度の芝居を作ること为目标としました。近年ではあまり力を注いでいなかった舞台セットや衣装作りにも積極的に取り組み、特に現役部員は不慣れな作業に悪戦苦闘しつつも、舞台を作る楽しさを満喫できたことと思います。しかしながら制作には予想以上の時間がかかり、本番間近になっても、連日連夜多くの部員がボックスにすし詰め状態で仕事に明け暮れることとなりました。そんな中でも、世代を超えて多くの人々が同じ時間を共有・交流できたことは一劇団としての団結力を向上させることにも繋がり、結果的には大きな財産になったと言えます。

本作は「南総里見八犬伝」をモチーフにしたオリジナル台本で、幅広い年齢層をターゲットにしていますが、本番は100名を超えるお客様に観に来ていただき、間違いなく過去最高のスケールの舞台になったと思います。ありがとうございました。記事：糸井 茂裕 言語・社会コース3回生



## ■ 奈良教ミミズプロジェクト

伝説の「オオトウフトミミズ(仮称)」を発見すべく、走り出した平成21年4月以来、我々ミミズプロジェクトは学内の学生を対象に公開講座1回、イベント出展4回、ミミズ採集合宿を4回行いました。



残念ながら伝説のミミズを発見することができませんでしたが、奈良県下を広く採集した結果、奈良県のミミズ相を明らかにすることができました。その結果は、後日公表される自然環境教育センター紀要に載る予定になっています。

公開講座では、学生約20名に参加していただきました。内容は外部講師を招き、採集実習、解剖実習などでした。参加者に、「ミミズを深く知ることができてうれしかった」などの意見をいただきました。

イベントでは、大阪自然史博物館や榎原昆虫館などに参加しました。出展内容は解剖したミミズの観察やミミズ体験などです。生のミミズを展示したため参加者の多くは足を止めてくれましたが、ミミズを触ろうとしませんでした。好奇心が大人よりもある子供たちでも同じでした。しかし、子供たちは一度ミミズを体験するとミミズから離れない子供も少なくありませんでした。おかげさまで、持参したミミズは帰る頃、へとへとになっていました。また、「ミミズを見直した」という愉快的意見もいただき、改めて、ミミズの魅力を認識するきっかけにもなりました。

来年以降も、各博物館のイベントへの参加を引き続き行いたいと思います。そして、まだまだ夢への挑戦をあきらめません。いつか必ず「伝説のミミズ」を捕獲する日まで、こつこつと採集を行いたいと思います。ぜひ、皆さんもご協力お願いします。記事：山中康彰 大学院1回生

## ■ みんなであそぼっ☆造形ひろば

私たち造形ひろばは、地域の子どもたちを対象にものを作る楽しさを味わう造形教室を行っています。この活動は美術教育専修の学生を中心に行う学生企画です。

この造形教室が子ども・保護者・学生の交流の場となることを願い、今年「みんなであそぼっ☆造形ひろば」というテーマで活動しました。9年目を迎えた今年の来場者数は約200人で、最近では毎年足を運んでくれるリピーターも多く見られるようになりました。

今年例年の粘土を使ったお菓子づくりに加え、紙コップや画用

紙を使った動物園づくり、かるたづくりを行いました。子どもたちは集中して作品を作り、満足した顔で自分の作品を持ち帰ってくれるのでとてもやりがいがあります。また、この造形教室は学生が考えた教材を実践することができるので、貴重な経験の場となっています。

そして、造形ひろばは学生企画活動支援事業に採択されて6年目を迎えました。支援事業として活動させて頂くことで、毎年十分な材料や道具を準備することができています。

来年は記念すべき10年目を迎えます。今年の改善点を生かし、来年も更に良い活動となるように頑張っていきます。

記事：下川 圭 身体・表現コース4回生



## 第3回大学懇談会を開催しました。

第3回大学懇談会～奈教みんなで！しゃべくり「006」～が開催されました。

平成21年12月9日(水)16:00から、学生会館山田ホールにおいて、第3回大学懇談会を開催しました。本懇談会は、日頃接点の少ない学生同士、学生と教職員、また卒業生や保護者、地域の方々などが自由に語り合うことで交流を深めるとともに、大学の活性化につなげることを目的として、学生が中心となった実行委員会が企画して、行われたものです。

今回は、限られた時間の中で、初対面の人同士がすぐに打ち解け、気軽に交流を深められるよう、最初に簡単なレクリエーションを行いました。途中、本学のイメージキャラクター「なっきょん」も登場し、一緒に「ごろごろドッスン」というボールを使ったゲームに参加すると、会場は一層盛り上がりました。

引き続き、学生食堂に場を移して行われた討論会では、ウズベキスタン、ルーマニア、ドイツからの留学生の手作りのお菓子などを食べながら、「教育大学6年制&免許更新制と求められる教育大生」や「食育とおかず談義」などのテーマについて活発な意見交換を行いました。参加いただいた地域の方からは、「面白いゲームなどが組み込まれていたの、和やかな雰囲気の中楽しむことができました。」等のコメントをいただきました。

